

令和6年度 第2回まちづくりミーティング

令和6年8月31日(土)14時00分～
教育プラザ富樫2階 121・122研修室
十一屋、泉野、長坂台校下(地区)

(1) 市長あいさつ

【村山市長】

皆さん、こんにちは。土曜日のお昼、そして台風が接近している中での開催となりました。お集まりいただきまして、まず御礼を申し上げます。ありがとうございます。

このまちづくりミーティングであります。実を言うと平成8年の頃、山出市長の頃からいろんな形で、名前や会議の開催方法を変えながら行ってきておりました。

私も昨年度からこのまちづくりミーティングを開始させていただきまして、その前の年は実は新しい都市像をつくるための会ということで開催をしましたがけれども、このまちづくりミーティング、3年間で全ての地区で行う予定で考えております。ですが前回開催したのが、コロナ禍もありまして、大分前になりました。泉野と長坂台では6年ぶりの開催、十一屋地区においては8年ぶりの開催と、久しぶりの開催ということになります。

この間、地域での課題が色々出てきたと思いますし、特に今日は市立病院や公民館といった施設の関係、あるいは今後の町会運営を担っていく若者の取り込み方の話、また、1月1日に能登半島地震がありましたけれども、災害対応、今後の災害に向けての体制の話、そういったことが話題になってまいります。この時間内で解決できないような課題もあると思いますけれども、また持ち帰らせていただきまして、一步一步、地域での課題を我々行政と一緒にしながら解決できる、そのような時間にしていきたいというふうに考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(2) 地域代表あいさつ

【泉野校下町会連合長】

皆さん、こんにちは。本日は、村山市長をはじめ金沢市の関係部局の方にお集まりいただき、また、このような貴重な場を設けていただきまして、本当にありがとうございます。また、地域の方々には、土曜日の午後にもかかわらず大勢お集まりいただきまして、あり

がとうございます。日頃より地域活動にご尽力いただけることにも感謝いたします。

さて、ちょうどこの3校下は野田中の校下ということになります。地図で見ていただければ分かると思うんですが、平面的には北から南まで約3.5キロ、それから東西が約3キロ。これはかなり広い面積がありまして、金沢市の犀川、浅野川に囲まれた旧市内がすっぽり入るくらいの面積ではないかなという気がします。そして高低差で見ると、北側には犀川べり、標高20メートルくらいのところから、南のほうの丘陵地帯、それから野田山、三小牛山の頂上付近まで含まれていますので、標高差にしても約150メートルぐらいあるという、そういった地域であります。

そういった、地理的にも様々、それから歴史的にも様々な地域なので、それぞれ抱えている課題もいろいろあると思いますが、また、共通する話題もありますので、本日はそういうところをいろいろ探って、今後の活動につなげられたらいいと思いますので、ひとつ皆様、よろしくお願いします。

(3) 地域課題の説明、課題に対する市の方針等の説明、協議

災害時の避難所開設について（十一屋校下）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参照願います。

【長坂台校下町会連合会】

十一屋さんの抱えている問題に関しましては、長坂台校下や、多分、泉野校下も同じことが言えると思います。私たちの長坂台校下というのが人口約9,300人で、金沢市の調査によると住宅の耐震化率約9割。もし能登半島のような震度7の地震が発生したときに起こり得ることは、建物の約1割が倒壊して住めないような状況になる。で、避難所に来るとなったときに、9,300人のうちの約1割、930人が避難所に生活することになると思います。長坂台小学校の体育館の広さから計算すると、どう考えても入れる人というのが200人ぐらいになってきます。なので、避難所としての使える場所というのが、大災害を想定したときにはまだまだ足りないのが現状です。

先ほどありました金大附属の小中高と、かなり大きな体育館が3つあってスペースがあるんですが、確認したところによりますと、そちらは国の建物になるんでしょうかね、長坂台小学校とか泉野、十一屋の小学校に関しましては、市からの防災の備品、資機材が配

給されているんですが、残念ながら金大附属とか、あと泉野校下にある泉丘高校、二水高校、そういったところには防災備品というのが金沢市からの支給はなかったんじゃないかなと思っております。

なので、多分人口的に言ったら、十一屋が7,100人、泉野が8,400人。合わせると2万4,000人の人口になります。先ほど泉野連合町会長さんからありましたけど、すごく広いこの面積の中に、輪島市の2万1,000人を超える人が住んでいることになります。地震だけならまだ先ほどの1割の避難民で済むんですが、そこに輪島市と同じように火災が発生しましたとなったら、当然、地震直後というのは水が出ません。往々にして被害はもっと甚大になるはずですよ。ですので、今、県からそういった見直しの話が出てるといえることがあると思うんですが、そこをもう少し掘り下げて具体的な数字を持って、避難民のことも考えた物資とかそういったものの備蓄等のお願いをしたいなと思います。

【山崎危機管理監】

ありがとうございます。

現状の地域防災計画の話を少しさせていただきます。

現在の地域防災計画では震度6強の地震が金沢市内で発生するという想定をしております。そのときに最大で約15万人の方々が避難をされると見ております。その後、長期1か月以上の避難をされる方が約7万3,000人ぐらいになると想定をしております。この人数が、今県が見直しをしております地震の被害想定の結果、増えるのか減るのか、ここは県の報告を待たなければいけないんですが、現状、屋根のある建物の避難所が金沢市今現在215か所ございますが、国の施設でありますとか県の施設、市の施設全て合わせて215か所を指定避難所として指定しております。その建物に約15万人の方が避難できるだけの施設数とスペースは確保しております。

ちなみに、学校等につきましては、体育館だけではなくて教室関係も使うということをお前提として、我々は避難所の運営というところを現在設定はしております。

今お話がありました、その避難所に物があるのかどうかということからいきますと、ご指摘のとおり、小学校、中学校については備蓄品という形で置かせていただいておりますが、県の施設ですとか国の設置につきましては、今現状置けていないのが実情でございます。これらにつきましても、能登半島地震を踏まえまして、現在、地震のその辺の課題をどう検証していこうかという課題検証会議というのを立ち上げて議論をさせていただ

いております。この中でも、どういうふうな備蓄品をどれぐらい、どこに置けばいいのか、こういう議論も今後していくこととしております。それらを踏まえまして、100%になるかどうかはなかなか難しいところもあるんですが、いろんな避難所に必要な物をなるべく配置をしていきたい、そういうふうな議論も今後出てくるかなと思っております。

今ご指摘をいただきました内容につきましては、今後のそういう議論の中に反映をして、よりよい形でまたご報告をできればなというふうに思っております。

そのほか市内には、大桑と大和町、そして新しくできました金沢スタジアム、サッカー場に大きな備蓄倉庫を設置しております、その大きな倉庫から各避難所のほうへ配送をするということで今計画をしております。こちら、能登半島地震のときには大きな道が1本しかないところが被災をしてなかなか国のほうからの支援も届かなかったということもありますし、また、市内は家屋が倒れて道が通れないということで、なかなかたどり着けないという話もあります。そういうところも踏まえまして、必要な物資を避難所にどう届けていくか、こういう話も現在出ておりますので、そちらのところも踏まえている協議をして、皆様のほうにまたいろんな形でお伝えをできればなと思っております。よろしく願いをいたします。

【村山市長】

それでは、今の話に少し加えて申し上げますと、民間の運送会社、具体的に申し上げますと佐川急便さんと防災時の協定を結んでおります。この1月の能登半島地震でも実はその協定を生かさせていただいて、能登地区の避難所への生活支援物資の搬送なども行っていただいたところであります。また、全国から集まってくる支援物資などについても、一旦佐川さんの倉庫のところでためてもらって、順次配送いただくというようなこともしております。

行政だけで行おうとすると、大規模災害時ですといろんなところに避難所も開設されて手が回らないところも出てきてしまいますけれども、そういった民間の力も借りながら、そしてこれからまた民間の、例えばスーパーであったりコンビニであったり、そういったところも可能性があるかなとも思っていますので、災害時の体制について整えていければというふうに思っています。

避難所については、やはりこういった災害があったとき、身近に自分たちに起きたときにどうすればいいかということを考え直す場になってくとも思いますし、今だからこそ

警戒をして次に向けての備えをしていきたいということで、地域防災計画や避難所運営マニュアルの見直しもしておりますけれども、より強固な体制づくりを目指していきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

泉野公民館の分離、独立（泉野校下）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参照願います。

【泉野校下町会連合会】

野口教育長、ありがとうございます。

地域の資金面についてなんですが、現在の既存の建物を耐震改修するというのはコスト面で有利かなとは思ったんですが、そういう考え方をお聞きして、それは別に建物は建物で考えればいいと思うんです。ただ、公民館の敷地をどうするかという問題、これ非常に大きな問題でありまして、それがどこになるかによって、地域に説明してこれだけ金がかかるんだというふうなコスト的なものもなかなか説明しにくいというところがありますので、どちらが先かという話になると、可能性があるということで進んでいけばいいのかということなんですが。全く駄目なものでしたら代替の敷地を探さなきゃいけないということなので、その方向で我々は検討しますし、ちょっとその辺をお聞きしたいんですが。

【野口教育長】

今年1月1日に能登半島地震がありました。いつ有事が起こるか分からない状況の中で今の建物がいつまできちとした形で使っていただけるかということを考えますと、恐らく武藤会長もご存じだと思いますが、地区社協で今使っていただいている、地域サロンや介護ヘルパーのステーション、これにつきましては、1年更新させていただいています。そんな中で、この建物は早く何とかしないといけないという思いに加え、いつ何が起きるか分からないという危機感を自分たちが持っておりますので、今後このことについては、またご相談させていただければというふうに思っております。

現時点で、今の建物は教育委員会の建物ではありません。もともと本市の消防署として使っており、消防が移転されたあと、地区社協とか健康福祉財団で使っていただいています。財産的には市有財産であり、繰り返しになりますが、教育財産ではありませんので、

これをどうするかということについては教育委員会で勝手に決められません。ここは市長部局と話をしていかななくてはいけないということをご承知いただきたいと思います。

【泉野校下町会連合会】

ありがとうございます。よろしくお願いします。

【村山市長】

ご提案いただきまして、ありがとうございました。

現在、金沢方式の見直しというのを進めていまして、公民館建設あるいは改築する際の負担の割合ということも検討しておりますので、そちらの議論も注目していただければというふうに思っております。

せっかく城南公民館関係のお話出ましたので。7月に台湾に行く機会がありまして、台中の白冷圳のほうへ訪問させていただきました。非常に熱心な活動を白冷圳のほうではされているということで、金沢市ゆかりの磯田謙雄技師の功績が台中のほうで非常に大事に語り継がれている、そして今も白冷圳のポンプを大事にされているということを知りました。これからまたどのようなことができるかということをも市のほうでも検討していきたいと考えております。

若い世代の町会連合会活動への参加促進について（長坂台地区）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参照願います。

【十一屋校下町会連合会】

私、公営住宅、金沢市の市営住宅の町会長をやっています。

今ほどの話の中で、私の町会では大学生とコラボをして、今年の夏祭りで北陸大学の13名の方に手伝ってもらったり、いろんな団体の方に手伝ってもらったりしています。ただ、うちの問題としては、350世帯入れる町会の中に今現在230世帯しか入居していません。その中で日本の小学生が2名だけで、校下の子ども会には参加できていません。百数十世帯空いているのに、もう少し国の制度を変えてでも若い世帯を入れてほしい。

十一屋校下の約4割は公営住宅です。僕が子供のときは子供がたくさんいました。今、十一屋小学校のクラスは2クラスです。僕は、十一屋小学校から長坂台小学校に移転しての第1期生です。十一屋小学校から机を持って長坂台小学校に行きました。今、この状態でいくと十一屋小学校はなくなるのかなと。残念ながら来年度で僕は出ていかななくてはならないんですが、若いお父さんがいません。外国人のお父さん、お子さんはいます。ただ、子ども会には参加、登録はしません。太鼓、みこし、ちょうちん行列に誘いますが、それはやはり宗教的なことだろうということで入っていきません。うちの町会は孤立しています。何とか手だてを考えてほしいです。今の状態では自治会も危ないです。230世帯が今最低限です。これ以上減ると自治会も解散しなくてはならないかなと正直思っています。やれることはやっています。大学生とも提携しています。ただ、金沢市のほうももう少ししっかりと力を貸してください。出ていく私が言うのも何ですけど、あとをよろしくお願いします。

【山下市民局長】

私も野田中出身なので、お年も似たような頃でないかなと思います。以前は、大変子供が多い地区で、公営団地のところ、十一屋のところという僕らの友達がいっぱいいたんですが、2年ほど前ですか、地元へ寄せていただいたとき、地区の方とお話しさせていただくと、今はほとんどが高齢者の方で若い人がいない。特に小さな子供がいる世帯はあまりいないというお話がございました。

公営住宅の入居につきましては、関係部署、住宅を管理しているセクションに、できるだけ若い方が入るような仕掛けが要るのではないかとご提案があったことを、お伝えさせていただきます。

少子化で子供がいなくて地区そのものの活力が失われていくということをご心配されている地区の方とお話しすることが本当に多くて、長期的に見て子供が増えていくかどうかはすぐ言えない状況ですが、現在、学生が地域活動に参加する仕組み、こういった形でも、外からでもいいのでまずは若い人が地区に入ってきていただく。そこでもし、県外から来た学生が金沢に残ってくれるとなおいいなと思って、そういう仕掛けについても今一生懸命やっているところです。改めて、できるだけ地域に身近なところへ若い世代の方が行ける仕掛けをやっていきたいと思います。

公営住宅については改めて関係部署に伝えておきますので、この場はお預かりをさせて

いただくということでもよろしく願いをいたします。

【村山市長】

かなり根の深い課題かと思っています。

今、市民局長のほうからいろいろ説明がありましたけれども、例えば今の学生ボランティアについては、従来、冬の間の雪かきボランティアというのをご存じでしょうか。大学生が中心となった団体に登録をしてもらって、雪が降ったときに、その締結をした町会での雪かきをやってもらうと。ただ、これだと学生の力を借りるだけになってしまう。

普段からのつながりができていくことが、例えば学生のその地域に対しての学びや、社会人に向けての学びになっていくということにも加えて、普段からその地域の場所が分かり、地域の方とのつながりができていることで、雪かきだけではなくて、もっと多層な関係づくりができないかということで学生さんに入ってもらう仕組みを行いました。

あと、結ネットのお話も出ましたけれども、もともと電子回覧板のつもりで行っていたことが、1月1日の地震で、この結ネットでの地域での避難所開設情報等々について即時性を持って伝えられたということで、非常に効果があったと思っています。また、そういった面からの利用ということでの改良が必要な部分もありますので、そのあたりは市民局のほうで検討していきたいというふうに思っています。

今、少子化となると、小学校、中学校の子供の数が減っているのに加えて、その親の数も減っているんですね。PTAについても成り手がいない。特に、いいことなんですけれども、正規雇用が進んでいった、特に男性、女性とも夫婦で正規雇用になっていくということ、そしてそうなる则自分の家庭の時間と仕事の時間以外の時間がつくりにくいということで、PTAも成り手不足と今言われています。そういった中で、PTAの会長などをやってもらうと次に町会活動をやってもらったりという、そういうつながりができてきたのが、そこが手薄になっているという中にあります。PTA活動についてもそうですし町会活動についてもそうですけれども、その負担を軽減していくというのがやはり大事であると思いますし、これからの担い手もつくっていききたいと思っています。多層な課題が入っている、そのような問題だと思しますので、それらについて各方面から対策を打ちたいと思います。

市営住宅のほうの入居については、特に平和町なども児童館造ったばかりですよ。もっとたくさんの子に使ってもらいたいということもあるし、その新しい児童館を使えると

いう子供の子育て環境としては非常にいい場所でもあるとも思います。そんな観点も含めて、担当の局、都市整備局のほうになりますけれども、伝えていきたいと思います。

(4) 共通課題について

市立病院の再整備について

「共通課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参照願います。

【村山市長】

今紹介のあったホスピタルギャラリー、9月21、22、23日の3日間開催しますけれども、非常に熱のこもった作品ばかりです。プロかと思うような作品がありますので、ぜひお立ち寄りいただければと思います。

市立病院、私も毎年の間ドックで使っております。老朽化してきているなという施設ですけれども、平成31年の4月に私、副市長として着任して、そのときから実は市立病院の今後のあり方検討会という会議の委員をしております。その翌年からコロナ禍になって市立病院もコロナ対応で忙しくなってしまったということ、また、結果的にはコロナ禍で市立病院、公立病院の感染症対策の病院としての意義が再度確認されたということも含めて、その後の基本計画について今年度動き出しているという中であります。

平和町公園を候補地として今検討作業を進めてきておりますけれども、時代の移り変わりもありますし、今後求められる機能という中でどのような規模で行っていくかということ、今年度中に計画の策定終わりますよね。

【市立病院事務局長】

しっかりと今考えております。

【村山市長】

はい。という中でありますが、またその内容についても注目いただければというふうに思っております。

(5) 質疑応答、意見交換

【十一屋校下町会連合会】

すみません、何回も。僕、実家が平和町なのでちょっと気になるんですけど、平和公園を潰して病院を建てるとは、公園はこれでなくなってしまうということですか。それとも今の旧のところを一部公園に残すとか造るとかということになるんでしょうか。

【市立病院事務局長】

今年度、市立病院の再整備に合わせまして、現在の市立病院の将来的ないわゆる跡地といますか敷地に関しまして、どのような活用ができるかといったような検討を進めていきたいと考えておりまして、今の平和町公園のいわゆる公園機能の代替につきましても、今後は町会や商店街の地元の関係者の方々とも相談しながら、その中で検討していきたいと考えております。

【十一屋校下町会連合会】

全部移転されるんでしょうか。病院の一部は今のところに少し残るんでしょうか。病棟がとか何科がとか。

【市立病院事務局長】

今年度の基本計画の中で、新病院の必要な規模といますか機能といったものを併せて考えていく予定でございます。

特に金沢市を含みます中央医療圏に関しましては、他都市と違う、いわゆる総合病院が密集している部分もありますし、大学病院等もある、こういった立地条件の中でお互いの各病院が連携し合って、どの部分の強みを出していき、どのような形で連携を取った中で金沢市の全病院、中央医療圏としてより充実した機能を持っていくかといったこと、これは県等も含めながら考えていく形になると思うんですけども、その検討の中で必要に応じて、今の現病院の敷地のどこか一部を、必要であれば活用していくといったようなことも今年度併せて検討していきたいというふうに考えております。

【十一屋校下町会連合会】

すみません。私、本当に大通り商店街のお店の息子だったので、まさしくそこは絡んでくるのでうちの母親も非常に心配していて、出ていけって言われるんじゃないかってちょ

っと思ったりもしてるので。しつこく聞いて申し訳ないです。

ありがとうございます。

【長坂台校下町会連合会】

お願いと提案になるんですが、2つあります。

一つは、能登半島地震を受けて気になっていたのが、災害発生後の避難所生活でのトイレ問題というのがありまして、以前、緑と花の課に相談させていただいたことがあるんですが、長坂台小学校、泉野、十一屋、いずれもかなり古い小学校ですが、最近の新しい小学校は屋上にプールがあって、そのプールの水を使ってトイレを流せる、そういった仕組みがあったりすると聞いています。

大桑の防災倉庫には、マンホールトイレといいまして、地中に埋めた配管の上に仮設のトイレを立ち上げて水で流す、そういう仕組みがあるというのも見せていただいております。お願いというのが、やはり先ほどお話があったとおり、野田校区の面積といたさらとも広いです。なので、もし例えば小学校に仮設トイレがありましたと。家は無事で、例えば耐震化率9割、ほとんどの9割の人が在宅での避難が可能です。でもトイレのためにわざわざ小学校まで行くというのは現実的じゃないと思います。

そこで、一時避難場所、一般的には公園ですね、ここにマンホールトイレの管を埋設していただけないかなというお願いになります。例えば配管の上に設置するトイレに関しては、町会もしくは防災会のほうでお金を出して買うことは可能なんですが、公園に穴を掘って配管を通すというのは我々ではできない。緑と花の課に関しては、トイレは造ることはできるけど、そういったマンホールトイレの配管はやってない、そういった前例もないというふうに言われています。この辺は、横のつながりを持ってそういった仕組みができないかなということをお願いしたいと思っております。それが1点です。

もう一つ、これも能登半島地震で気になったニュースなんですが、災害で発生した瓦礫を、たしか船で搬出して姫川かどこかに運んだというニュースがありました。残念ながら石川県、金沢市もそうなんだと思うんですが、庭木とか木材、こういったものは多分燃えるごみとして処理されているんじゃないかなと思っています。最近では、こういった木材とか庭木の剪定した枝葉、そういったものはバイオマス燃料として活用する。要はCO₂の排出削減等にも全国的に力を入れている自治体が多いと聞いております。今後、そういった災害時に発生する廃材等も燃やすのではなくて、やはりそういったバイオマス燃料と

かCO₂削減のための処理、資源としての再開発、そういった仕組みを進めてもらえたら
なと思っております。

【司会】

ありがとうございました。

2点目のほうにつきましては、恐らく環境局のことになってくるかなと思いますので、
事務局のほうで引き取らせていただいて、また後日、環境局のほうから回答させていただ
ければなというふうに思いますので、それでよろしいでしょうか。 はい。

それでは、1点目のほうにつきまして、危機管理監、よろしくお願いいたします。

【山崎危機管理監】

確かにトイレ問題というのは非常に大きい問題になっています。金沢市は昨年度から、
トイレ処理セット、要は袋に排出をして、そこに薬品を入れて処理をして、後で燃えるご
みとして捨てられるものがあるんですが、その備蓄を一部、実は去年から始めております。
今回の地震を踏まえまして、今後、その数量ですとか配置場所は見直していかなければい
けないなということで、今、検証会議の中でも検討をしております。

マンホールトイレにつきましては、現在、国のほうでも防災安全の関係で下水道整備を
する上で、そういう敷地にマンホールトイレを設置する費用については補助をするという
ようなことになっていまして、企業局のほうで計画的に、どこにつけていくかという計画
をつくって、危機管理課のほうも一緒に相談しながら進めております。

ただ、下水道に流しますので水が要ります。その流す水をどこから確保するかというと、
実はほとんどございません。特に今回、栗崎地区でも約10日間実際に断水をしております。
その間、水はありませんでしたので、仮設トイレを設置したときには全てくみ取り式でし
た。ですので、今マンホールのついている避難所、拠点避難所を中心につけておりますが、
そこは先ほどもありました、新しい学校は屋上にプールがある関係で、そこからバルブを
1つ開けるだけで水が流れるように造っていただきまして、なるべく手軽に使えるように
させていただいております。それ以外の学校につきましては流せる仕組みがないということ
で実際についていけませんので、今後、学校の建て替えでありますとか新たな下水の更新で
ありますとか、そういう中で検討していかなければいけないかなと思っておりますが、実
際なかなかそれは難しいという状況ではあります。

ですので、我々としては、現時点でトイレ処理袋セットを家庭でも備蓄をしてほしい。当然避難所のほうにも配備はしていくのですが、それを家庭のほうでも備蓄をしていただいて、家庭の便器のところに袋をセットしたら使えます。これは燃えるごみとして処理できますので、そういう一時的に下水が使えない、水道が使えないという状況でも使えますので、そういうものをまず備蓄をしてほしいなというふうに思っています。それ以外の備蓄品も含めて、最低3日分を各ご家庭で備蓄をしてほしい、できれば1週間分、そういう形をお願いをしたいなと思っています。

実は地震の発生後、いろんな通信販売などのトイレ処理袋セットが一時品切れになりました。宮崎の地震が起きたときに、大手のネット通販サイトも一時在庫不足で注文できないという状況になっていました。皆さんかなり関心を持たれているのも事実です。手軽に準備ができますので、まずそこを各ご家庭でお願いをしたいです。その上で自治体として、公助としてやれることは今後いろいろな形で検討していきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

(6) 市長まとめ

【村山市長】

改めまして、本日お集まりいただきまして、そして様々な課題について議論をいただきまして、ありがとうございました。

最後、平和町公園については、私も毎年のようにお祭りに参加させていただきますし、今年4月7日には能登のかき祭りを開催いただきました。すごい列になって、そこでお昼食べようと思っていたのが全くそのような時間がなくなってしまいましたけれども、すごくにぎわっていたのを覚えています。そういった地元の方に愛され、そして先ほどの学生の参加という意味では金大附属の学生もそこでブースを出して、いつも商店街と一緒に楽しんでいただいているなと思っていますけれども、大事な場だと思っています。今の病院の跡地も含めて議論しておりますので、またその建て替えをしているときにはどこが使えるかということもまた課題になるかと思っておりますけれども、そこを地元の各機関とも調整をいただきながら開催などもしていただきたいと思います。

トイレの問題については先ほどのとおり、そして瓦礫の廃材等については、分別した後で持ち込まれることになっていたはずだと思いますので、金沢までその廃材等来るのかどうかというのは確認できておりませんが、金沢でも戸室新保の埋立場のところ、第

3期で行ったところをもう1回開けて、そこで受け入れるということにしておりまして、地元の方々にご協力をいただいているという中で、金沢としてもできる協力をしていきたいというふうに思っております。

いずれにしましても、今日こういう形で様々な課題についてご議論いただけたことに感謝を申し上げたいと思いますし、また、足りないところについてアンケートでまたご記入いただければ、追って我々のほうから回答させていただきたいというふうに思っております。長時間にわたりありがとうございました。